

大鹿村の南北25Km 東西15Km が博物館 地形・地質 観察ガイド



中央構造線北川露頭(国天然記念物)



高森山林道

マイロナイト帯観察ルート(休止中)

中央構造線

分杭峠(谷中分水界)
中央構造線の断層破碎帯は侵食されやすく、川が掘り込み、まっすぐな谷になっている。分杭峠は、その長大な谷の中の水系の境界だ。

鹿塩温泉

鹿塩温泉
山の中に濃い塩泉が湧いている。本州の下に沈み込むフィリピン海プレートが持ち込んだ水が、地下数10kmから上がっていることが分かってきた。



二児山

山頂部を戸台構造線が通り、破碎帯が侵食されて頂上がふたつに分かれている。



小渋川(先行河川)と中央アルプス

小渋川は南アルプスが隆起し始めたころから流れている。山の隆起に負けずに川が侵食し続けてきたため、川が伊那山地を横切って流れ続けている。



河合の中央構造線断層鞍部

中央構造線の断層鞍部が並び、鞍部を結んで古代から人々が往来し『秋葉街道』になった。



大西公園

昭和36年の集中豪雨が引き金になり、硬いマイロナイトの岩盤が大規模に崩れ落ちた。崩壊礫と土砂が対岸の集落まで押し寄せ、42名が亡くなる大災害になった。崩壊地の下に一瞬にできた台地には、桜が植えられ、崩れた岩塊の一部をそのまま保存している。



和合の扇状地

中央構造線の西側では、構造線に面した斜面が崩れ、山すそにできた高台に集落がある。



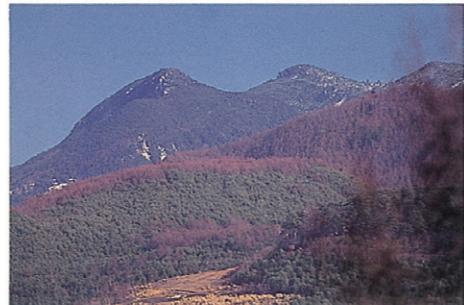
中央構造線断層線谷

南アルプスでは、中央構造線の断層破碎帯を川が侵食し、日本最大の断層線谷の一部になっている。

中央構造線安康露頭(国天然記念物)
中央構造線の断層破碎帯は侵食されやすく、川が掘り込み、まっすぐな谷になっている。安康露頭は、その長大な谷の中の水系の境界だ。

鳴子温泉

鳴子温泉
山の中に濃い温泉が湧いている。本州の下に沈み込むフィリピン海プレートが持ち込んだ水が、地下数10kmから上がっていることが分かってきた。



二児山

山頂部を戸台構造線が通り、破碎帯が侵食されて頂上がふたつに分かれている。

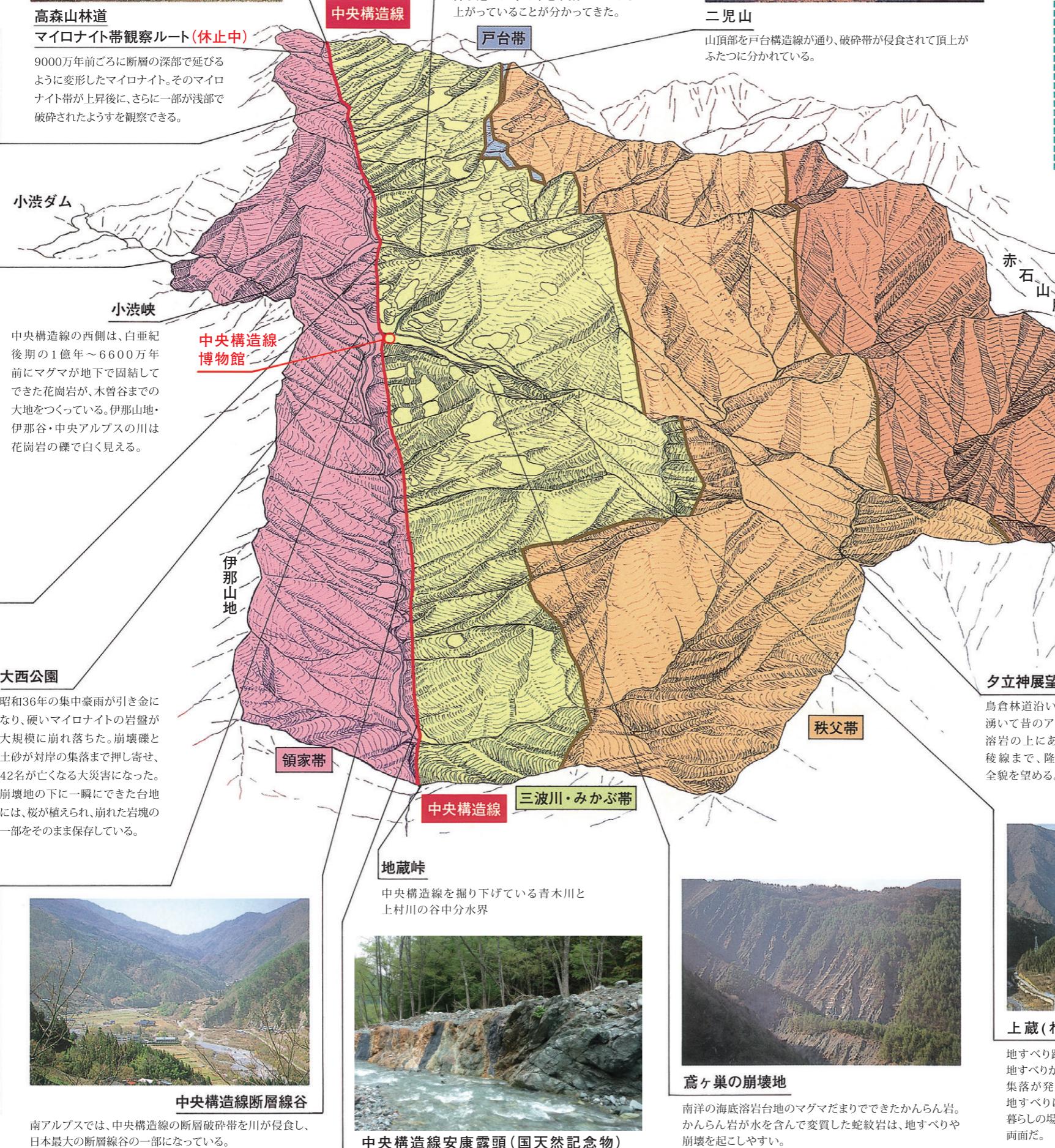
中央構造線の両側の岩石は、でき方がちがう
露頭や川原の岩石でくらべてみよう



←中央構造線の西側
小渋峡の白い川原

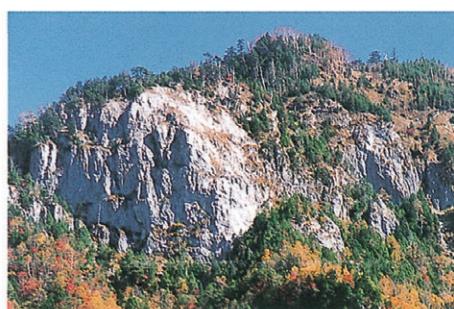


中央構造線の東側→
塩川の緑色の川原
(鹿塩温泉前)



小渋川本谷と赤石岳

中央構造線と斜めに交わる小渋断層を、小渋川が一直線に侵食し、大河原から谷の正面に赤石岳を望むことができる。小渋川の川原は、源流の荒川岳の崩壊地から流れ出た四十万帯の砂岩と泥岩のため黒く見える。



豊口山の石灰岩体

もとは南洋のサンゴ礁やプランクトンの石灰質の殻が堆積してきた。1億5000万年前ごろに昔のアジア大陸の縁に運ばれてきた。軟らかいが崩れにくい石灰岩は岩壁になる。



鳥倉林道終点付近の付加体

遠洋から運ばれた石灰岩やチャートと、海溝に堆積した泥岩が、小断層で接している。